

県民の心身の健康を守り、 健康寿命の延伸と幸せにつながる 食育の推進を目指して



私たちの食生活は、自然の恵みの上に成り立ち、食に関わる人々の様々な活動に支えられています。食への理解を深め、食に対し感謝する心を育み、生涯にわたって健康を保持できるよう食育を推進することは、県民の幸福度向上に欠かせません。

本県では、平成 18 年に群馬県食育推進計画「ぐんま食育こころプラン」を策定し、以来 15 年にわたり「食の大切さを理解し、食を通して豊かな人間性を育む」ことを基本理念に、食育を推進してまいりました。

その結果、市町村や関係団体等における取組が進み、県民の食育に対する理解が深まるとともに、地域での多彩な活動が広がっています。

一方で、近年、食に関する価値観やライフスタイルが多様化するとともに、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う「ニューノーマル（新常態）」への対応等が求められています。地域の伝統的な食文化の継承や、食料の生産から消費に至る持続可能な食の循環などの課題に対して、経済、社会、環境の面からも食育の一層の推進が必要となっています。

そこで、第 4 次計画では、今後 5 年間に本県が取り組むべき食育について、生涯を通じた心身の健康を守ること、持続可能性の視点を入れた食の循環・環境や食文化を守ること、新たな日常やデジタル化に対応することの 3 つの基本方針を定め、SDGs の推進に資する具体的な施策を展開していくこととしています。

人生 100 年時代を迎えようとする今、活力ある健康長寿社会を実現するためには、健康寿命の延伸や生活習慣病予防は重要な課題です。全ての県民が誰一人取り残されることなく、幸福を実感できるよう、皆様とともに食育の推進に取り組んでまいります。

令和 3 年 3 月

群馬県知事

山本 一太